


令和8 年 4 月 1 日

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	プリリアント	事業所番号	710102211
住所	福島県福島市方木田字北白家22-32	管理者名	竹内 孝好
電話番号	024-572-7915	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>◆活動場所：プリリアント ◆実施日程：令和8年2月9日 ◆活動した概要： コミュニケーションデザイナー井上敬一（株式会社FiBlink）による一瞬で人を魅了するコミュニケーションに関する研修を受講した職員が研修内容を踏まえ、利用者に対してコミュニケーションに関する勉強会を実施した。併せて質疑応答を行い、日常応答を行い、日常生活や就労におけるコミュニケーションへの理解促進を図った。 ◆利用者数 15名</p> <p><目的></p> <p>利用者が就労を通じてコミュニケーションが苦手と言う方が多く見られ、将来、人間関係を豊かにするよう、コミュニケーションのメリット・手法・テクニックの向上を目的として実施した。また、一般就労や長期就労を見据え、人間関係が楽になる為に参考になる事を目的とした。</p> <p><成果></p> <p>利用者がコミュニケーションの大切さに理解を深めることができ、「人との関係」を意識した行動につながる様子が見られた。勉強会後には、コミュニケーションの取り組みについて職員に相談する利用者が増えるなど、コミュニケーションに対する重要性和意識向上が確認できた。一歩で、コミュニケーションに対する考え方や理解度に利用者御意図に温度差があり、内容を一度の勉強会で十分に定着させることには限界があると感じられた。</p>	<p><活動の様子></p> <p>職員がホワイトボードや配布資料を使用し、利用者一人一人の理解度に配慮しながら、ゆっくりと説明を行った。利用者からの質問にもその場で丁寧に対応し、双方向のやり取りを通じて、安心して参加できる雰囲気の中で実施した。</p> 
---	---

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>研修を受講した職員からは「わかりやすい簡単な内容で、就労や日常生活に直接関わるため、利用者が理解しやすくなった感じた」「利用者がコミュニケーションについて自ら考え、質問する姿が見られ、支援の手応えを感じた」という意見があった。今後も、研修で得た知識を日々の支援の中に活かし、利用者の生活面を含めた就労定着につなげていきたいとの声が聞かれた。</p>	
連携先企業（担当者）	株式会社FiBlink 代表取締役 井上敬一 / プリリアント 竹内孝好

利用者からの意見・評価

<p>勉強会を通じて、「コミュニケーションの大切さが分かり、話を聞き出すテクニックは勉強になった」「人と話すことに少し積極的になってみようと思った」などの声が聞かれた。また、これまでコミュニケーションについて不安を感じていた利用者からは、「難しいと思っていたが、身近なことで説明してもらえたので理解しやすかった」「分からないところをその場で質問できて安心した」との評価があった。コミュニケーションに対する苦手意識が和らぎ、日常生活や就労の中でコミュニケーションを意識しようとする前向きな姿勢が見られるようになった。</p>
